

## 第15回 日本在宅医学会大会 プログラム別 詳細情報

カテゴリー	シンポジウム
タイトル	どうすれば開業医が在宅医療に参入できるか？ ～在宅医養成と都市部・町村部の医療連携の取り組み～
日時	平成 25 年 3 月 30 日 10 : 00～12 : 00
会場	サブホール
演者	鈴木内科医院・鈴木 央先生、あおぞら診療所・川越 正平先生、古田医院・古田 達之先生、池田診療所・緩和ケアネットワーク大田・長坂 行博先生、出口外科医院・出口 雅浩先生、白髭内科医院：認定 NPO 法人長崎在宅 Dr. ネット・白髭 豊先生
企画趣旨	<p>2012 年度の診療報酬改定で、強化型在宅療養支援診療所が新設された。しかし、在宅特化型でなく地域の外来診療も行っている一般診療所にとって、強化型の新設は、「地域性」や「医師のメンタリティ」などの問題により連携相手を 2 人以上探さねばならないことがハードルになるなど、むしろその支援には結びついていない面もある。多死を迎える時代での今後の在宅医療の充実のためには、在宅医療をこれから始める一般診療所の参入を促進し、都市部・町村部別でどう対処すべきか、などの問題を解決する必要がある。</p> <p>開業医向け在宅医療導入研修プログラム（東大柏プロジェクト）、前記プログラムにより在宅診療を開始した都市部の診療所、町村部での医療連携の実践、緩やかな診診連携ネットワークの実践など、在宅医療をこれから始める際のヒントを考える。</p>